

目 標 達 成 計 画

事業所名 カーサ岩沼グループホーム

作成日 平成30年 4月 2日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	H30年介護保険法改定に伴い、身体拘束廃止の取組が重要になっているが、職員によって意識の違いが感じられる。	職員の意識改革における身体拘束の廃止への取組。	カーサ岩沼設立の事故・虐待委員会にて3ヶ月に一回は課題提示しながら、職員廃止に向けた動きを確認する。	1年
2	49	計画的に行われていないため、出来ている時とできない時に波がある。職員の出勤状態で決まる事。	天気の良い日や季節的に外出しやすい時期になったら、積極的に外出する。	年間、月間、週間計画を立てて実施できる状態を構築する。	1年
3	2	法人が変わって、地域にあまり馴染みが薄い。地域の情報が少ない。	地域の行事に積極的に参加して、カーサ岩沼グループホームを認知してもらう。	カーサ岩沼設立の地域連携委員会を通して、地域の情報を得る事で、積極的に参加していく。包括支援Sとの連携強化。	1年
4	40	複合施設の為、食事は厨房より提供されており、作る機会が減っている。一緒に食べる習慣がない。	計画を立て月に数回、料理やお菓子作りの機会を増やす。おやつ時間は利用者とゆっくりする時間を作る。	年間、月間、週間計画を立てて実施できる状態を構築する。意識的に関わる時間を作る。	6ヶ月
5	33	看取りの状態の取組方がまだ明確になっていない。職員によって思いの偏りがある。	看取りのマニュアルを作成して、職員全員が共有できるようにする。	看取りを終えた後には反省会（カンファ）を行う事で認識の違いを共有する。	6ヶ月
6	26	時間が取れないと言うより作れていない。計画作成担当者のケアプランの見直しやモニタリングが不透明である。	計画性を持ってカンファレンスの機会を作る。	計画作成担当者は常にケアプランの内容を意識して、状態変化のある時なども、カンファが行える状況を作るようにする。	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。